

《茨城支部ニューズレター令和4年10月16日号》

2022年度第2回資格更新研修会／第1回公開講座が以下の通り開催されました。

1. 日時／場所：2022年10月16日（日）13：30～16：30／Zoomによるオンライン開催
2. テーマ：日本版 WISC-V の理解と活用ー知的発達のアセスメントはどう変わるかー
講師：大六一志先生（日本臨床発達心理士会茨城支部支部長、日本版 WISC-V 刊行委員）
3. 参加者：89名（臨床発達心理士：68名、一般：21名）
4. 内容

○ WISC-V の概要及び検査の構成について

WISC-IV から WISC-V への改訂により、検査内容や構成、実施法、集計・分析等において様々な変更があった（適用年齢、所要時間等に変更なし）。WISC-V は CHC 理論に準拠し、5 つの知能の領域と 5 つの主要指標とが 1 対 1 で対応している（WISC-IV は一部準拠）。これにより、各主要指標で見ている能力がより明確になった。

○ 検査結果の解釈と支援

全検査 IQ および主要指標の結果からどのような解釈がなされるか、またそれぞれの能力が弱い場合の支援・追加検査等の紹介。プロセス分析から得られる情報も日常生活や学校での支援に役立つと考えられる。

○ 日本文化科学社のホームページへの掲載

現在、WISC-V テクニカルレポートが # 2 まで載っている。また、日本文化科学社で開催予定の講習会についての情報はこちらで確認できる。

集計ソフト、解説書、追加の下位検査およびタブレット版 WISC-V については、今後発売予定となっている（時期未定）。

検査の実施法や解釈を正しく理解することは勿論のこと、検査結果を踏まえて適切な支援方法を提案していくことが検査者／臨床家としての責務であることを再確認いたしました。

研修会の開催にあたりご尽力を賜りました皆様方に、感謝申し上げます。

（文責：中島 亜砂美）

< 2022 年度第 3 回資格更新研修会／第 2 回公開講座のお知らせ >

テーマ：ゲーム障害（仮）

講師：小松ざき 智恵先生（茨城県立こころの医療センター）

< 「ざき」を漢字変換すると文字化けする可能性があるため、ひらがなで表記しています >

日時：2023 年 2 月 25 日（土） 13：30～16：30

場所：Zoom によるオンライン開催